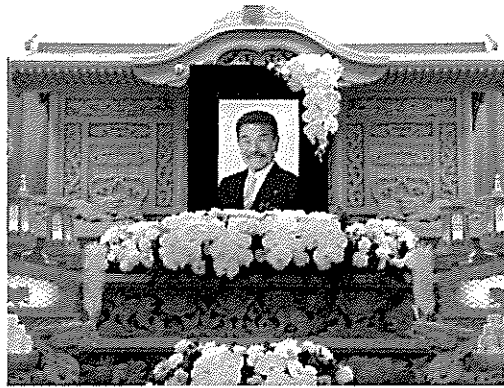


○ ミート・コンパニオン阿部会長の葬儀・告別式に多数参列し故人をしのぶ

今月4日に77歳で死去した(株)ミート・コンパニオンの創業者である阿部徳次取締役会長の葬儀・告別式が11日、東京・立川市のセレモニア立川会館白峯殿で執り行われた。ミート・コンパニオンと阿部家の合同葬によるもの。当日は、政界および行政関係者や業界関係者、地元の関係者など多数が参列し、故人をしのんだ。葬儀委員長はミート・コンパニオンの阿部昌史社長、喪主は妻の阿部紀子さん。



吊辞を読んだ(株)ニイチク(株)の山田彰男社長は、「阿部徳次さん、あなたは私の義理の兄であり、業界の師匠だった。だが、あえて今日は『大変ご苦勞様でした』と言わせてほしい」と述べ、自身の幼少期の阿部会長との思い出を紹介。そのうえで、「見た目は少しごついが、本当に優しい男だった。病床にあっても常に熱く語り、笑顔が絶えなかった。享年77歳、本人はまだまだやり残したことがあったと思

うが、昌史社長という立派な後継者がその遺志を引き継いでゆくだらう。何も心配をすることなく、これからは高い所から家族・友人を見守ってほしい。沢山の思い出をありがとう」と述べた。続いて政界・行政、業界関係からの多数の弔辞が寄せられ、故人の死を悼み冥福を祈った。

葬儀委員長の阿部昌史社長は「本人は家族葬を希望していたが、会社や業界にとっても父であり、会社と阿部家の合同葬とさせていただいた。本人は病氣と長年戦っており、この5、6年は入退院を繰り返していた。家族、社員そして今日ここにいらした方々も、この人の人柄が大好きで、これだけ大勢の人たちに集まっていた。私たちは家族も会社も、これから創業者の遺志をしっかりと引き継いで、前を向いてゆくので、引続きご指導・ご鞭撻をお願いしたい」と述べ、参列者に謝辞を述べた。

○ デンマークチーズ協会が17年情報交換懇親会、来年も様々な事業を実施へ

デンマークチーズ協会(会長:名取三郎なとり代表取締役会長兼社長、事務局:デンマーク農業理事会)は8日、東京・有楽町で2017年情報交換懇親会を開いた。会員など40人が参加し、和やかに懇親した。最初に名取会長が、「今年は海外視察研修でタイを訪問した際はラクトさんに大変お世話になった。来年も各事業についていろいろ企画し実施したい」とあいさつした。

ユニオンチーズの佐藤伊彦代表取締役社長が、「当協会はチーズ業界で最も歴史のある会。昭和40年(1965年)にでき、当時はデンマー

ク大使館に事務局があった。設立され52年の歴史を持つ」と、同協会の設立を振り返って乾杯の音頭を取った。

事務局のデンマーク農業理事会の小野澤鐵彦駐日代表は、「この1年いろいろあったが今年もこうして集まることができた。先ごろはウォーレンホルト社から輸出担当取締役のピア・ポールセン氏が来日し、その際にはゴルフにもお付き合いいただき1日を和やかに過ごした。真面目で誠実な方だが、日本の皆様のご厚情に大変感謝して帰られた」と、ピア・ポールセン氏からの感謝の意を伝えた。

○ 15日に卸売市場を含めた食品流通構造の改革に関する説明会—農水省

農水省は15日午後4時から、東京・江東区の東雲合同庁舎5階共用会議室で「生産者・消費者双方のメリット向上のための卸売市場を含めた食品流通構造の改革に関する説明会」を開く。8日に開催された農林水産業・地域の活力創造本部で、農林水産業・地域の活力創造プランが改訂され、生産者・消費者双方のメリット向上のための卸売市場を含めた食品流通構造の改革が盛り込まれたことから、この説明会を開催する。申込みは農水省食料産業局食品流通課卸売市場室(Fax03-3502-0614)まで。別途、同会場では午後1時30分から中央卸売市場の開設者、全国団体(生産者、中央・地方卸売市場関係者、小売・実需)、都道府県を対象に説明会を開催する。